



師走、今年一年の締めくくりに

12月に入りました。2020年もあと1ヶ月を残すのみですね。今年には新型コロナウイルス感染症によりさまざまな活動ができなかったり変更したり、いろいろなことを考えた年になりました。その中で、現状ではまだまだ厳しいことや、辛いこともありますが、今、目の前にあることを新型コロナウイルスのせいにして怠けようとするれば、来年に向けた「希望」は出てきません。



PTA 成人教育の皆さんが校内の落ち葉掃きを、環境保健の皆さんが花の植え替えを行いました。ありがとうございました。

努力をする人は希望を語り、怠ける人は不満を語る

この言葉は、作家・井上靖さんの言葉です（諸説あります）が、この言葉について『もし、その人が希望を語っているのなら「前向きに努力している人」である証です。逆に、不満ばかり語っている人は「自分は怠けている」と言っているようなものです。要するに、本気で努力していれば、自然と希望を口にし、怠けてばかりいけば、おのずと口からは不満ばかり出てくる、「努力」と「希望」はワンセットで、努力するから希望が湧く、希望が湧くから努力するということです。』と、このように言っています。また、怠けたいから不満を語る、とも。

今、まさに3年生は進路実現に向けて「努力」をしている真っ最中だと思います。10月から3年生一人一人との面談を行っていますが、東中の良さやこれからの自分についてなど、いろいろな話をされていてとても楽しく思ったのと同時に、感心もしました。それは、自分がやりたいことや、なりたい職業、夢などをすでに持っていることが聞けたからです。また、今はまだ夢などを持っていないなくても、すごく前向きな気持ちで考えていることなどもわかりました。努力をしていけばこそ出てくる希望の言葉、これを大事にしたいですね。井上さんの言葉のように、「希望」を持って「夢」を語る事ができたら素晴らしいです。今こそ、この努力することを忘れないで進路実現に向けて全力で頑張ってください。

また、1, 2年生も、現在、学年で進路学習に取り組んでいます。「自分は〇〇をしたい」、「将来は〇〇を実現させたい」、などこれからのことに対して、常に自分の思いや夢をもって臨むことは、いつも言っている「自分を大切にすること」につながります。1, 2年生にとっては中学校生活は来年も続きます。そこで、新年を迎える直前の今、来年はこうしたい！という思いを持って今年一年を振り返り、そこから自分はどうしていきたいのか？新年に向けた夢と希望につなげられるとよいと思います。新しい年に向けて、この12月をより有意義なものにしていけるよう、一年の締めくくりの学校生活を送りましょう！